

ベネズエラ地震被災地支援 岡山でAMDA募金活動

地震で被災したベネズエラを支援するため、募金活動を行うAMDA職員(右)



国際医療ボランティアAMDA(岡山市北区伊福町)は10日、南米ベネズエラで起きた連続大地震の被災地支援のため、同市のJR岡山駅南地下道で募金活動を行った。

AMDA職員とボランティアの計14人が参加。死者3685人、

負傷者1万6740人(7日現在)といった被害状況を伝えるチラシ200枚を配り、通行人に協力を呼びかけた。

浄財を投じた梶本小夜子さん(74)「京都市は、阪神大震災で被災した経験があるといい「復興にはすごく時間がかかる。1日でも早い復興のための力になれば」と話した。

AMDAはこれまで医師と看護師の計4人を現地に派遣しており、診療や医薬品の提供などの医療支援に当たっている。難波妙副理事長は「被災地に寄り添う支援を継続していきたい」と話した。

(恒川香花)